

笑顔とがんばりの町

おのまち議会だより

151号

平成29年
8月25日発行

石垣市・広野町・川内村・八重山農林高校のみなさん

ようこそ小野町へ



「小野高校・八重山農林高校の深まる友好」 (おのまち“交流”フェスティバル)

主な内容

定例会6月会議の結果 ……	2	議会活動トピックス ……	14
町政を問う 4人が一般質問 ……	5	5月～7月の議会活動日誌 ……	15
行政調査レポート ……	10	町民の声 ……	16
追跡・あの一般質問を検証 ……	13		

定例会6月会議

6月14日～19日

平成29年小野町議会定例会6月会議は、6月14日から19日まで6日間の日程で開かれました。
会議では、平成29年度一般会計補正予算や条例の一部改正、議員提出議案3件など19件の議案を全て原案のとおり可決したほか、予算の繰越明許費繰越の報告がありました。
また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

138万7千円追加する補正予算を可決

一般会計歳入歳出それぞれ138万7千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額を52億6,688万7千円とするものです。

【主な補正内容】

◆歳入

項 目	補正額
福島県地域創生総合支援事業 県補助金	138万円

◆歳出

※1万円未満切り捨て

項 目	補正額
地域創生総合支援事業 外 (小野高校と八重山農林高校 交流イベント等事業)	200万円
安定ヨウ素剤購入費	21万円
胃がん健診読影機器購入費	52万円
予備費	△135万円

条例の一部改正

次の5つの条例の一部が改正されました。
主な内容は次のとおりです。

◆小野町税条例

地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行ったものです。

◆復興産業集積区域における小野町税の特例に関する条例

復興産業集積区域に立地する企業が、土地、建物、償却資産等を取得した場合に固定資産税を免除する取得期限を4年間延長するものです。

◆小野町税特別措置条例

山村振興法に基づく、地方税の課税免除または不均一課税に伴う減収補填措置が行われる場合の課税免除適用期間を2年間延長するものです。

◆小野町国民健康保険税条例

地方税法施行令の一部改正に伴い軽減対象世帯の範囲を拡大するものです。また、平成29年度の国民健康保険税の税率を改定するため、条例の一部を改正するものです。

国保税は、国民健康保険制度を運営するために、その年度に見込まれる総医療費などから、国や県などの負担分を差し引いた残りを各世帯が負担します。
(詳しくは「広報おのまち7月号」をご覧ください。)

◆小野町立幼稚園の保育料等に関する条例

子ども子育て支援法施行令の一部改正に伴い、低所得世帯・多子世帯等について、保育料軽減措置を拡充するため改正するものです。

報告事項

予算繰越明許費繰越について、次の2件について町長から報告がありました。

○平成28年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について

○平成28年度小野町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越の報告について

※繰越明許費とは

国または地方自治体の予算は、年度内に支出することが原則(会計年度独立の原則)ですが、年度内に支出が完了できない見込みのある予算について、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用することができる費用を繰越明許費といいます。

自治体の長は、繰越明許費について、翌年度の5月31日までに繰越計算書を作成し、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、次の議会に報告することになっています。

請願・陳情の審査結果

定例会6月会議では次の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

陳情者：日本労働組合総連合会福島県連合会

田村地区連合会 議長 白岩進一郎

付託委員会：厚生産業常任委員会

審査結果：採択

◆農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情

陳情者：郡山地方農民連 会長 宗像孝

付託委員会：厚生産業常任委員会

審査結果：採択

※陳情の審査は、付託された常任委員会で行います。付託とは、議会の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せるといいます。

人事案件

農業委員会等に関する法律の改正により、議会の同意を要件とする町長の任命制となったことから、議会の同意を求められ、農業委員会委員10名について、全員賛成で同意しました。



よし た まさ み
吉田 政美氏
(上羽出庭)



いまい ずみひろとし
今泉 浩利氏
(飯豊中)



せんざき としつく
谷津作 先崎 利次氏
(谷津作)



よし た きよし
吉田 清氏
(飯豊上)



むらかみ やすひろ
村上 泰啓氏
(南田原井)



やぶち いち お
矢吹 市雄氏
(小野赤沼)



なまめ やすゆき
生天目 安行氏
(浮金)



はしもと こうじ
橋本 光治氏
(小野山神)



はせがわ よしのぶ
長谷川 栄伸氏
(湯沢)



あべ きみ え
阿部 君江氏
(本町)

議員提出議案

3件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：宗像 芳男 議員

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を衆議院議長等に提出することについて提案したものです。
○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

議案提出者：竹川 里志 議員

意見書提出先：衆議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

議案提出者：渡邊 直忠 議員

意見書提出先：衆議院議長、参議院議長

※意見書とは……

意見書とは、「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができ(地方自治法第99条)」とされています。公共の利益の増進を図るため、議会に認められている権限です。



4人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します
「会議録」をご覧ください。（8月下旬掲載予定）

会田 明生 議員 6ページ

- ・道路上へはみ出している枝の伐採について
- ◆・段階に応じた創業支援策について
- ・移住・定住お試し住宅について
- ・子育て世帯向け公営住宅について
- ◆・優良田園住宅について

遠藤 英信 議員 7ページ

- ◆・子供貧困対策について
- ・街なか賑わいと「まちの駅」等について
- ◆・生活基盤の確保と移動販売車導入について
- ・小野町将来像（ビジョンと決意）について

渡邊 直忠 議員 8ページ

- ・徴収率向上について
- ・不納欠損処分について
- ・新規税導入も含め財源確保の努力について
- ・物品購入・建設工事・修繕等地元発注率向上について
- ◆・トラハイ沿線町村連携について
- ◆・ふるさと財団活用による産業活性化について
- ・農業振興地域内における住宅建築について
- ・小野公園野球場改修について

竹川 里志 議員 9ページ

- ・地域おこし協力隊の現況について
- ・目的の活動になっているかについて
- ・今後の地域おこし協力隊の募集について
- ・観光資源の現況について
- ◆・観光資源の推進施策について
- ・ふくしま駅伝小野町チームの大会参加について
- ◆・選手の育成について



5月第1回会議を開催
5月22日に平成29年小野町議会5月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

補正予算

◆平成29年度小野町一般会計補正予算

コミュニケーション助成事業によるLED防犯灯整備費補助金に係る経費250万円及び福島民報社の民報金ばれんの受賞記念事業補助金等に係る費用296万2千円を補正するものです。

契約案件

◆工事請負契約の締結

防災行政無線デジタル同報無線システム整備工事請負の請負契約を議会の議決を経て締結するものです。

※予定価格が5,000万円以上の工事請負契約を締結する場合、議会の議決が必要となります。



▲百目木堀切線（塩庭字神山地内）

契約案件

◆工事請負契約の締結

社会資本整備総合交付金事業で行う百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事の請負契約を議会の議決を経て締結するものです。

7月第1回会議を開催
7月10日に平成29年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示しています。
・村上昭正議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	龍田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市
会議 5月第1回	町長	平成29年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		防災行政無線デジタル同報無線システム整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会6月会議	町長	平成29年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		復興産業集積区域における小野町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税特別措置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町立幼稚園の保育料等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議 7月第1回	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議 7月第1回	町長	社会資本整備総合交付金事業百目木・堀切線道路拡幅・舗装工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、補正予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

問 子供貧困対策について

答 関係機関と連携した実態把握と 貧困払拭に必要な支援を行う

町長 町では県からの情報提供や受給世帯からの申請、関係機関との連携等により、

問 国では、成立から3年経過している子供の貧困対策の推進に関する法律及び様々な対策は、今だけ見つめるものではあつてはならないとしています。貧困家庭を救う4つの支援、それは、教育支援、生活支援、経済支援、就労支援です。小野町では子供の貧困はどのように把握しているのか、また、小野町の子供の未来を見つめた貧困対策はどのようなものなのか、町長の考えを伺います。

町長 国・県の施策との連動につぎましては、児童手当並びに児童扶養手当の支給を行うほか、子供やひとり親家庭の医療費助成事業などの経済的支援に継続して取り組んで参ります。町独自の支援事業といった



遠藤 英信 議員

実態の把握に努めるとともに、子供の貧困を払拭するために必要な4つの視点からの支援を行って参ります。

再質問 先ほど貧困家庭を救うのに4つの支援があるとの答弁でしたが、国が進めている貧困対策とどのように連動していくのか、また、小野町独自の支援事業としては何をやるのか、そして就学援助や奨学金付金など小野町の子供に対する社会福祉対策に活用するため、新たな基金を創設する考えはあるのかを伺います。



しましては、生まれた子供たちの健やかな成長を願い、笑顔とがんばり子育て応援金を贈呈する経済的支援や関係機関との連携による生活の支援などを行って参ります。

また、新たな基金につぎましては、現在のところ設置する考えはございませんが、各種制度の周知に努めるとともに、福島県や社会福祉協議会と更なる連携強化を図って参ります。

問 町の商店は店じまいが続いており、地区によっては営業店舗が数件という現状であります。生活必需品などは、買い物弱者にとっては近くに店がなく困っている状況であり、この現状を打破しなければコミュニティも失われ、生活基盤も崩壊してしまう恐れも危惧されることから、国の移動販売や買い物弱者対策支援制度を活用してみてもどうかと思います。

町の現状を鑑み「みんなの町の行商屋さん」移動販売車の導入を検討してはどうかであります。このことは喫緊の課題と受けとめて、具現化することを望むものです。町長の考えを伺います。

町長 高齢者や体に障害がある方など、様々な事情により町内商店街へ買い物に行くことができない買い物弱者にとつて、生活基盤の崩壊となつてしまふ恐れがあると私も感じております。今年度より交通弱者の移動支援のため、小野町タクシー利用料金助成事業を行っております。

国の移動販売、移動スーパーや買い物弱者対策支援制度活用による移動販売車の導入につぎましては、補助対象者が商店街組織となつているため、小野町商工会など関係団体と協議いたしまして調査・研究をして参ります。

問 段階に応じた創業支援策について

答 国・県の支援策の紹介とニーズや 段階に応じた支援策も考えていく

問 創業支援について小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略で目標値は平成31年度までに5件の創業実現を設定しています。中小企業庁の資料によると、創業、起業の促進における課題としては、大きく分類して資金やノウハウなど創業における困難と創業を考える人そのものが少ないことの2つが挙げられております。

国においては様々な創業支援策がありますが、町として1件でも多くの創業者が誕生するよう創業への呼び水となる支援策が必要と考えますが、町長の考えを伺います。



次世代創業塾の様子

町長 町では小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、平成28年度より金融機関との連携による創業支援事業を実施しており、昨年度の登録受講者は17名でした。各段階での支援には、経営ノウハウに関するものと、金融上の支援の2つの方法が考えられ、町としては引き続き国・県などの支援策を紹介しながら、創業者などのニーズや段階に応じた支援策も考えて参ります。

問 優良田園住宅については、平成10年7月に施行された優良田園住宅の建設の促進に関する法律に基づく制度で、農山村地、都市の近郊、その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で、一定の基準を満たすものです。制度の特徴として農地法の農地転用や農振法の農用地区域からの除外等の手続への配慮がなされることが一つです。

町の魅力の一つは豊かな田園風景です。自然に恵まれたゆとりと潤いのある田園住宅の建設を促進し、定住へとつながる基本方針を定めてはと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 優良田園住宅に関する基本方針の策定については、農業振興地域や農地法などの農業関連施策との調整も必要なので、今後の調査・研究事項として参ります。

再質問 農地法や農振法もあるので、調査・研究をしたいということですが、最近、そういった制度が一つの障害にもなっているのだからと思います。町としても田園風景、これは資源の一つだと思います。制度を積極的に展開することにより、移住による定住人口増などへの重要な部分ではないかと思えます。庁内の議論をもう



優良田園住宅のイメージ(国土交通省ホームページより転載)

少ししていただきたいと思いますが、町長の考えを伺います。

町長 農業振興地域内の農地などについては法的にクリアできるものであれば、実現できるように庁内一丸となつて進んでいきたいと思っております。

問 優良田園住宅について

答 農業振興地域など関係施策と 調整しながら、調査・研究する

います。



観光資源の推進施策について



あらゆる場面で捉えて 観光資源のPRに努める

問 小野町の観光施設、郷土料理や豊かな自然、おいしい食材、伝統文化、歴史など、多くの魅力の発信のこれから小野町のPRや推進の施策を伺います。

町長 町ウェブサイトで情報発信を初め、交流自治体でのイベント、首都圏観光PR事業等への参加、日本橋ふくしま館でのPRイベントを関係団体と連携を図りながら実施しているところであります。また、小野高校と友好協定を締結した八重山農林高校、更には学校法人郡山開成学園などと連携し、当町の食材を生かした発酵食品の開発を行い、観光資源としてPRしていきたいと考えております。

町長 史跡やお祭り、伝統芸能、重要文化財、温泉、キャンプ場、そして、おいしい食材や食事を楽しめるお店が多数あります。更に小野インターチェンジ付近には小野運動公園もあり、スポーツ施設や親子が楽しめる遊具が整備されており、それらを新たな観光資源として、小野インターチェンジを中心とした当町のすばらしい交通アクセスをPRしながら、情報発信していく必要があります。観光に訪れた方々に感動を与えていくことが重要であると考えております。

※当該地域にある観光資源に精通し、地域と共同で観光地づくりを行う法人のこと。



竹川 里志 議員

再質問 稼げる観光資源をつくるという観光庁の推進しているDMO※の発想が必要だと思いますが、商工会や企業、自治体などが一体になった稼げる観光資源の開発や、戦略的な観光を検討する考えはあるのか、町長に伺います。



中学生・高校生を中心に育成できる環境づくりを支援する



ふくしま駅伝選手の育成について

問 ふくしま駅伝は、市民の健康と体力の向上を図り、たくましい市民の育成と社会貢献など、人材育成になる駅伝大会であります。現在、中学生や高校生が中心になっている小野町のチーム選手育成の更なる支援体制について教育長に伺います。

教育長 現在、町内の陸上競技愛好者で組織をします「ふくしま駅伝小野町チーム」が中心となり、選手の発掘と育成に取り組んでいきます。町としては、駅伝チームに対する自主的な活動に対し補助金による必要な経費の支援や、大会参加においては町スポーツ推進委員などによる全面的なサポートをしております。

再質問 選手の強化対策、けが防止対策、精

神的なケア、技術向上などの課題改善や対策のため、今までの参加選手やコーチとの意見交換や経験者のアドバイスなど、協力体制はどのように考えているのか教育長に伺います。

教育長 監督以下コーチ、それからトレーナーは選手から活躍していたらいています。その指導や管理のもと、中学生や高校生に対して取り組みやすいような状況を設定しております。

環境整備としては町の多目的グラウンド、雨が降った場合には体育館の走路を使つての練習としております。トレーナーがおりますので、選手の健康管理やけが防止の対策をしています。



第28回市町村対抗福島県縦断駅伝大会(ふくしま駅伝)

再々質問 町全体で協力と応援、支援体制ができるための小野町独自のスポーツ振興計画などが必要と思いますが、教育長の考えを伺います。

教育長 国では、スポーツ基本法にスポーツ推進を図ることを謳っております。町では、第四次小野町振興計画の中において全ての住民に対してスポーツ活動と健康増進のための施策を行うこと、スポーツ施設の充実を計画的に進めることとしております。



トラハイ沿線町村連携について



慎重に考えたい

問 人口減少などの課題に直面し、全ての公共サービスを一つの町村で提供することは困難となり、合併ではない選択肢の一つとして川内村、平田村、玉川村、小野町等でトラハイ沿線町村連携を検討する時期と考えます。職員の調査研究から始めるべきと思いますが、町長の見解を伺います。

町長 町では、郡山広域消防組合や阿武隈中部高原観光連絡協議会において消防防災の強化や観光交流の拡大



あぶくま高原道路(トラハイ)

また、職員による広域事務や広域的な施策の調査・研究については、事業立案を念頭に置くよう指示して参ります。



渡邊 直忠 議員

を図っており、近年は川内村や広野町、埼玉県戸田市と自治体間の連携協定を締結しております。あぶくま高原道路沿線自治体との更なる連携体制の強化は、既存の連携体制があることや、県の地域所管の関係などもあり、慎重に考えて参りたいと思います。



ふるさと財団の活用も含め 農業振興の指針を検討する



ふるさと財団活用による 産業活性化について

問 ふるさと財団の地域再生マネーシャー事業等を活用して小野町の農業振興の指針とする考えはあるのか。また、小野町地域農業研究所(仮称)を設置し、農業の振興を図るため県職員である農業普及所の退職者の活用などが必要だと考えますが、町長の見解を伺います。

町長 一般財団法人地域総合整備財団、いわゆるふるさと財団の事業活用も含めて様々な分野の専門家から助言等を受ける機会を設け、地域の実情に応じた農業振興の指針を検討して参ります。

また、小野町地域農業研究所(仮称)の設

置についてであります。が、持続可能な農業振興を図るため、農業の熟練者や、専門的知識を有する方々の様々な立場の方が参画した組織設置に向けて進めて参りたいと考えております。

再質問 ふるさと財団は行政でない活用できないものでありますし、町が計画を進めなければできないものであります。財団の事業を活用することがこの地域の農業活性化につながると考えますので、ぜひお願いをしたいが、町長の考えを伺います。

町長 農業は町の基幹産業であり、若い人たちが農業を始める



ようにするためには、研究所設置のようなこともありますが、基幹作物の開発や販路の拡大、定年退職後の農業従事なども含めて、町として生懸命取り組んで参ります。ふるさと財団のことも先ほど申しましたようにこれから検討をして参りたいと思います。

小中一貫校・若者定住住宅などを調査 調査先:福岡県みやこ町・福智町・添田町 行政調査:6月28日～30日

総務文教常任委員会の行政調査は6月28日から30日までの3日間の日程で、教育行政・若者定住住宅「ファミリー団地」の取り組みなどを調査するため福岡県の京都郡みやこ町・田川郡福智町及び添田町を訪問しました。

はじめに、みやこ町の「みやこ伊良原学園」を訪問。この学園は、県営伊良原ダムの建設に伴い、平成28年に開校し、生徒児童数が26名と少人数ではありますが、小中9年間一貫教育を行っています。1年生から4年生は、毎日6校時授業・5年生から9年生は水曜・金曜は7校時授業を行っており、5年生から、中学校教師の専科授業を導入しているとのことでありました。又学校統合においては、みやこ町学校再編整備についての財政改革を軸に「学校のあり方検討委員会」を立ち上げスケジュールを計画し行なうとのことであり小野町の小学校統合においても必要ではないかと思いました。

次に福智町図書館・歴史資料館を訪問。福智町は平成18年に三町が合併して誕生した町であり、その中の旧赤池町役場をリノベーションして、新しい文化・教育の拠点として平成29年3月オープンいたしました。館内は地元の食材が楽しめるカフェ、文房具や本が購入できるキオスク、3Dプリンタなどものづくりができる工房があり、また子育て支援の拠点として施設の充実を図ることとした。図書館は、職員の研修を積極的に行い現在15名の職員が業務に携わっており館長は公募で選出されたとのことでした。1日約500名の利用者があり今後は10万冊の蔵書を目標にしたいとの話を伺い、当町の施設の充実を図るべきとの認識をいたしました。

最後の訪問先は、「若者定住住宅ファミリー団地」事業について添田町を訪問しました。添田町は、当町と同じく人口減少を喫緊の課題としており、いかにして若者が住んでいただけるかを話し合った結果定住促進のため団地を建設することを決定し、27年度6棟、28年度同じく6棟を公営住宅として建設。入居者の要望により6種類のタイプから選べることや室内の改造を行うことができるため、申込者が殺到したとのことでした。宅地面積290㎡・建坪は30坪で平屋建てと二階建てがあり、家賃は月額35,000円です。入居条件が45歳以下の夫婦で小学生以下の子どもがいる家族として25年以上居住してくれる方とし、特に自治会に加入し、地域活動に参加してくれる方であり地域との繋がりを重視しているとのことでした。当町も施策の一つとして「若者定住住宅ファミリー団地」等を考えていく必要があると思います。

▲「図書館・歴史資料館 ふくちのち」の説明を受ける(福智町)

総務文教常任委員会委員長
籠田 良作



「昭和の町」による観光交流人口の増加などを調査 調査先:大分県豊後高田市・宇佐市 行政調査:7月4日～6日

本年度の厚生産業常任委員会の行政調査は、商店街の空洞化により衰退した中心市街地に再び観光客を呼び込み、交流人口を増加させた取組と、現在小野町でも取組んでいる農産物の生産・加工・販売の6次化産業に、農商工が連携して98品目をブランド化している大分県宇佐市の取組、同じく宇佐市が市民を巻き込んで実施している健康づくりへの取組み「健康チャレンジ」について調査研修してきました。

豊後高田の昭和の町づくりは、商店街が全盛期であった昭和30年代の賑わいをよみがえらせようという願いを込め、現存する昭和の建物はそのままに、昭和の店舗への改修にあたっては、商業者が事業費の約3分の1の負担になるように市から補助金が交付され、現在まで多くの店舗が改修されています。現在昭和の店に認定されている店舗数は44店舗となり、移住・定住施策の効果もあり、昭和の町でお店を始めたい方が増えているそうです。商業と観光の振興ということで、行政は支援・援助、商工会議所はコーディネート、商店主はお店の運営、ま

ちづくり会社がPR等を担って4者が一体となり行動しています。今後の課題は、新規の来訪者の確保は当然であると思いますが、2度、3度訪れて頂くための事業展開が求められると思います。宇佐市では、地域資源を200%活用でまちの元気創出を掲げて、農商工の連携強化による6次産業化を産業振興の主要施策に掲げ、地域間競争に打ち勝つことができる付加価値を商品の創出を通じて地域経済の活性化を図ることに取組んでおり、宇佐ブランド認証品である、酒類・飲料水、農産物加工品、畜産物加工品、水産物加工品を宇佐の地から全国に発信しています。

宇佐ブランド認証制度は、宇佐市における地場産の原材料等を活用して製造、加工された農畜水産物加工品のうち、特に優れた商品を宇佐ブランドとして認証して、認証品には「U」マークを貼付して販売しており、現在98品目が販売されているそうです。ちなみに宇佐市で醸造されている、麦焼酎「いいちこ」も6次化商品でした。生産、加工、販売の得意分野

は、当町と同じく人口減少を喫緊の課題としており、いかにして若者が住んでいただけるかを話し合った結果定住促進のため団地を建設することを決定し、27年度6棟、28年度同じく6棟を公営住宅として建設。入居者の要望により6種類のタイプから選べることや室内の改造を行うことができるため、申込者が殺到したとのことでした。宅地面積290㎡・建坪は30坪で平屋建てと二階建てがあり、家賃は月額35,000円です。入居条件が45歳以下の夫婦で小学生以下の子どもがいる家族として25年以上居住してくれる方とし、特に自治会に加入し、地域活動に参加してくれる方であり地域との繋がりを重視しているとのことでした。当町も施策の一つとして「若者定住住宅ファミリー団地」等を考えていく必要があると思います。

今回の調査事例を基に、小野町独自の町づくり、小野町方式の6次化産業育成、健康づくりを議論し、行政へ反映できるように努めて参ります。

厚生産業常任委員会委員長
田村 弘文



▲昭和のまちづくりについて説明を受ける(豊後高田市)

追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

妊婦健診、産後ケア、乳児健診等の更なる支援等について

質問

妊産婦や乳幼児を持つ親御さんからは、情報が少ない、個別の案内が欲しい、ホームページがわかりづらい、安易に利用できる相談窓口が欲しいなど、多くの意見をお聞きます。情報提供の方法について改善を要すると思われますが、それについての考えを伺います。

(平成27年定例会9月会議)

答弁

周知の方法、周知の回数も含めて、今後対応していきたいと考えます。

その後



▲おのまち子育て応援ガイドブック

行事カレンダー information				
健康づくり				
月	日	行事	時間	場所
8	18日	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	24日	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
	25日	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	31日	こころの相談室	予約制 13:30～15:30	役場分庁舎
		夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
9	1日	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	7日	健康栄養教室	受付・予約制 9:30～9:45	勤労青少年ホーム
		夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
	8日	ヘルスアップ運動教室	13:30～15:30	多目的研修集会施設
	11日	健康相談日	9:00～12:00	役場分庁舎
	14日	夜間ヘルスアップ運動教室	19:00～20:30	町民体育館
親子の教室				
月	日	行事	時間	場所
8	18日	すくすく発達教室	予約制	
	24日	親子ふれあい教室	受付10:00～10:15～12:00	
	29日	育児教室	受付10:00～10:15～12:00	子育て支援課キッズルーム
9	8日	すくすく発達教室	予約制	
	11日	ママのリフレッシュ教室	受付10:00～10:15～12:00	
	12日	子どもの相談室	予約制	
		幼児のわくわくタイム	受付10:00～10:30～12:00	スマイル公園
乳幼児健診				
月	日	行事	時間	場所
8	23日	1歳6カ月児健診	受付13:00～13:20	
	30日	3～4カ月児・9～10カ月児健診	受付13:00～13:20	子育て支援課キッズルーム
9	15日	3歳児健診	受付13:00～13:20	

▲広報おのまち「行事カレンダー」(平成29年8月号より)

先進的な議会運営・議会改革への取り組みを調査

調査先:栃木県野木町議会 行政調査:7月19日

小野町議会議員12名は、先進地の議会改革の取り組みを視察調査するため、栃木県野木町議会を訪問しました。

野木町議会では、議会基本条例※1を町の自治基本条例より2年先行して制定し、平成27年4月1日より施行しています。制定にあたっては、約2年間かけて大学教授などの指導をもとに作業を行ったとのことでした。本年度施行後、3年が経過しようとしていることから、見直し作業を進めているそうです。

議会議員政治倫理条例について、運用した事例はないとのことでしたが、公共事業(工事や物品購入)への議員の関わり方について、倫理規範を設ける必要性が生じたことや近隣町で制定されたこともあり、制定したとのことでした。

一般質問の方法について、通告期限は、定例会の約2週間前に開催される議会運営委員会の2日前までとなっており、発言方式は対面型の1問1答方式でおこなっているとのことでした。

小野町と違っていた点は、まず、町長の施政方針(紙媒体)が早い段階で議員に配布され、施政方針に対する一般質問が行われること

でした。2点目は、町長に反問権※2が付与されており、反論・質問・確認が行えることとなっているとのことでした。現在は町長のみに反問権が付与されておりますが、質問の内容を確認する必要が出る場合もあるなどから、説明員全員が反問できるようにする方向で検討しているとのことでした。

模擬議会(※3)も議会女性議会(※4)の開催方法については、平成26年1月以降開催をしていませんでしたが、本年11月に子どもたちが議会を模擬体験する機会として、小・中学生を対象とした模擬議会を開催する予定で進めているとのことでした。

最後に、野木町では政務活動費が月額1万円支給されており、年度当初に年額12万円を一括支給しているとのことでした。視察の経費などに活用しているとのことでした。全て領収書を添付



- ※1 議会運営の基本原則を定めた条例
- ※2 質問者に対して問い返すことができる権利
- ※3 模擬議会
- ※4 議会女性議会

小野町議会運営委員会委員長 宗像 芳男
小野町議会改革特別委員会委員長 竹川 里志

今回の視察調査の成果は、今後の議会運営や議会改革に反映させ、「開かれた議会」を目指していきます。



▲野木町のシンボル「野木町煉瓦窯」(野木町ホームページより転載)



▲議会運営・議会改革の取り組みについて説明を受ける(野木町議会)

議会活動日誌

5月

- 1日 予算決算常任委員会現地調査
- 9日 小野町老人クラブ連合会通常総会
- 10日 議会広報編集委員会
月例全員協議会
議会改革特別委員会
税に関する調査特別委員会
- 14日 ふるさと小野町会総会(埼玉県)
- 17日 第58回小野町商工会通常総代会
- 19日 郡山市議会議員研修会(郡山市)
- 20日 飯豊小学校運動会
小野新町小学校運動会
浮金小学校運動会
- 22日 議会運営委員会
全員協議会
小野町議会5月第1回会議
予算決算常任委員会
町村議会広報研修会(郡山市)
- 25日 例月出納検査
- 26日 第44回小野町更正保護女性会定期総会
田村地区交通安全協会定期総会(田村市)
- 27日 元気発信!!おのまち交通安全パレード
- 28日 高柴山山開き
- 29日 小野町水防協議会
- 30日～31日 全国町村議会議長・副議長研修(東京都)



元気発信!!おのまち交通安全パレードに参加
(平成29年5月27日)



吉野復興大臣へ要望書を提出
(平成29年7月20日)



川内村議会との交流会の様子
(平成29年7月31日)

6月

- 2日 福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
- 3日 矢大臣山山開き
- 9日 議会運営委員会
全員協議会
- 14日～19日 小野町議会定例会6月会議
- 18日 小野町消防団金ばれん祝賀会
福島県消防協会第13回田村支部幹部大会(三春町)
- 19日 月例全員協議会
- 21日 平田村議会との交流会(平田村)
- 26日 例月出納検査
- 28日～30日 総務文教常任委員会行政調査(福岡県)

7月

- 3日 郡山地方広域消防組合臨時議会
- 4日～6日 厚生産業常任委員会行政調査(大分県・福岡県)
- 8日 小野運動公園愛称募集表彰式及び記念行事
- 10日 議会運営委員会
全員協議会
小野町議会7月第1回会議
月例全員協議会
公立小野町地方総合病院企業団議会
- 13日 小野町交通対策協議会
小野町青少年育成町民会議総会
- 19日～20日 議会要望活動・議会運営委員会・議会改革特別委員会行政調査
- 24日 福島県総合事務組合議会
- 25日 例月出納検査
田村消防署落成式
- 25日～26日 田村地方広域行政組合行政調査
- 25日～27日 決算審査(現地調査)
- 28日 小野町戦没者追悼式
田村地方市町議会議員研修会(田村市)
- 31日 川内村議会との交流会

村上昭正小野町議会議長 福島県町村議会議長会長に就任

平成29年6月2日に開催された福島県町村議会議長会総会において、
会長に選出されました。任期は2年間となります。
福島県内の町村議会の取りまとめ役として、重責を担っていただきます。

主な役職

福島県町村議会議長会	会長
県南地方町村議会議長会	会長
田村地方町村議会議長会	会長
福島県市町村総合事務組合議会	議長
全国町村議員会館評議員会	評議員
全国豪雪地帯町村議会議長会	会員
全国町村議会議員共済会	代議員
全国町村議会議員互助会	代議員
福島県都市計画審議会委員外各種審議会委員等	



加藤 内堀雅雄
内堀福島県知事に要望書を手渡す村上議長

議会活動トピックス

町村議会広報研修会に参加(5月22日)

議会広報編集委員会は、郡山市で開催された福島県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会に参加し、「もっと身近に、もっと読まれる 議会広報誌づくり」をテーマにした講義を受けました。

今後は、この研修の成果を生かして、もっと読んでいただける議会だよりの編集に取り組んでいきます。



講義を受ける議会広報編集委員会委員

定例会9月会議は9月7日(木)に開会の予定です。

一般質問は9月8日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)



3-3
えん どう ゆう か
遠藤 優香さん

私は生まれも育ちも小野町で、17年間この町で暮らしています。そんな私は、この町には多くの

魅力があると思っています。たとえば図書館としての機能だけでなく様々なイベントも開催される文化の館、休日には県外からも人が押し寄せるリカちゃんキャッスル、町民の疲れを癒してくれる小町の湯、そして毎年春に人々を魅了する夏井千本桜です。とくに私は千本桜の祭りを毎年大きな楽しみにしています。しかし、私の周囲では「いつ祭りが開かれるのか」「どこでどんな催しがあるのか」といった正確な情報を知っている人があまりいませんでした。きつと、もともと高校生にまで広く詳しく宣伝がいきたる方法や手段があれば、いっそう参加者も増え盛り上がりも増すと思います。私は長い間小野町に住んでいます。まだまだ小野町のことについて知らないことが多いと思っています。だから今後はさらにわが故郷の魅力を知らながら、それらをうまく人々に伝えていけるような存在になりたいと思います。



2-1
わた なべ み さ き
渡邊 美沙稀さん

私は、小野町の魅力としてあげられるのは夏井の千本桜が美しいこと、リカちゃんキャッスル

といった全国に名の知れた場所があること、オムレットやアイスバーガーなどといった地域の特産物があることが一番の魅力だと感じています。

しかし、地域のイベントが開催されても小中学生が来て楽しんでいるのをあまり見たことがなかったり、「コンビニやスーパーマーケット以外で営業している店舗が少ない」というように魅力のある小野町にも課題があります。

私は、田村市から通学しているため、小野町について深くは知っていません。しかし、部活道で地域のイベントに数多く参加させていただいています。私たちの力だけでは小野町をより魅力ある町にすることはできませんが、ホームページやSNS等を使って若い人たちに「小野町ってこんなに素晴らしい町なんだな」と知ってもらえるようになってほしいと思います。

• あとがき •

残暑お見舞い申し上げます。暦の上では、立秋を過ぎましたが、暑い日はまだまだ続いております。

町民の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思いますが、台風の時季を向かえ、記録的な降水量が局所的にありますので、注意が必要です。

私たちの暮らす日本列島は奇跡の連続で地球に誕生したということですが、自然の恵みを沢山受ける一方で自然災害も起こりやすいということでしょうか、日頃から災害や暑さなどの対策を宜しくお願いいたします。

この秋には、議会報告会を予定しております。町民の皆様の声を行政に反映させるためのご意見や考えをお聞きますので、多数の参加をお待ちしております。町民の皆様には広報などを通じて随時情報提供を心がけて参りますので、日頃から議会にお声がけを宜しくお願いいたします。

議会広報編集委員会委員

竹川 里志

平成29年
8月25日発行

151号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒9663-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2

☎0247-72-2111